



2016.8.28
織研新聞

1 急浮上ワード、「エコファー」って？

…元々は、天然のファーに比べて価格が安く、コストダウンのためというイメージがありました。動物愛護などCSR（企業の社会的責任）の観点からあえてエコファーを採用するケースが国内でも見られます。特に、ブランドや企業単位（※）で全面的にエコファーに切り替えるのが最近の傾向です。

※ブランド・企業例：海外だと「ステラ・マッカートニー」「パタゴニア」、国内だとユニクロ、マッシュホールディングスなどが知られています。

以前よりも素材のクオリティーが良くなり、取り扱いのしやすさなどのメリットもあるため、デザイン表現の手段の一つとしても捉えられています。こうした背景から、ネガティブな印象のあるフェイクという言葉ではなく、エコファーという呼び方が広がっています。

<http://www.senken.co.jp/news/sales/ecofar/>



2016.9.26
織研ニュース

2 リアル以上のファーを

…国内でも動物愛護の機運が本格化し、リアルファーからの置き換えが進む中、エコファーとして注目度は増す一方だ。リアルファーに極めて近い質感、さらにそれ以上の素材感を求めて、各社で素材段階から組織まで年々、開発が深化する。

…中野メリヤス工業の「レオパードキャット」は日本エクスラン工業製アクリル纖維を酸性・カチオン染料双方を用いて染色したファー素材。両者の微妙な染色の差がリアルファーのような、マットな色の深みを醸し出す。同素材はこれにヒョウ柄のプリントも置いたものだが、無地物でも同社はこの技術を広く活用し、リアルファーに近い素材感を表現した素材を多数そろえる。

岡田織物の「スノートップ レッキス」は近年、引き合いが増加し続けているヒット素材。特徴は何より、三菱レイヨンと共同開発したY字断面型アクリル纖維「プロパール」により実現したリアルに極めて近い風合い。完全にマットでウールライクな素材感もポイント。原綿に一部、帯電防止素材を加えるなど、細部のグレードアップも絶えず行っている。…

<http://www.sen-i-news.co.jp/...>



2016.4.30
織研新聞

3 素材3分レッスン・フェイクファー

天然の毛皮（リアルファー）を模したパイル織物・編物の一種。日本ではフェイクファーの呼び方が一般的だが、イタリアなど欧州では「エコファー」という呼び名が浸透している。

15～16年秋冬のレディスでは、ファーアウターのトレンドがあるが、リアルファーの相場高騰のため、フェイクもよく使われている。

…市場に流通する多くは中国製だが、日本では和歌山県の高野口が、フェイクファーをはじめとする高品質なパイル織編物の産地として知られる。

<http://www.senken.co.jp/news/supply/fake-fur-160430/>

※注：アメリカでは“faux fur”の呼び名が通例。

本物の毛皮をフェイクと偽る時代



米・高級デパート Neiman Marcus、一部商品で本物の毛皮をフェイクファーとして販売して罰金刑。（2013.3）

<http://www.cnn.co.jp/business/35029836.html>



上は動物福祉団体HSUSの毎年の調査により発覚。下はTV番組になるほど国民の関心が高いということです。

TV番組の潜入捜査にて、英・老舗デパート Debenhamsで本物を使ったフェイクファー商品を発見。（2016.12）

<http://www.itv.com/news/2016-12-16/could-your-faux-fur-actually-be-real/>

今こそ、エシカル革命!!

エシカル？

エシカル（ethical）とは「倫理的」ということ。といっても、難しい哲学は不要で、動物を苦しめない方がいいよね、人を苦しめない方がいいよね、サステイナブルな方がいいよね、というごく自然な発想から、生き方をシフトしているのです。

エシカル消費？

消費活動においても、エシカルな動きが広まっています。エコ、ロハスなどと呼ばれてきたものが、さらに拡大しているのです。ヴィーガンとも一部重複します。

エシカル・ヴィーガン？

ヴィーガニズムというのは、動物のことを考えて、可能な限り動物利用を避けるライフスタイルのことです。近年、食事法（ダイエタリー・ヴィーガン）が取り上げられることが増えたため、その対比で、元来のヴィーガンを「エシカル・ヴィーガン」と呼びます。人間、本来は動物を苦しめたくないので、そのような自然な生き方ができる環境を整え、皆が実践できるようにしましょう！